

になって1年以上帰省していません。僕は広島出身なので、ちよつとした折にお好み焼きを食べたくなります。これがソウルフードというものでしょうか。想像しただけで唾液が、と言うよりよだれがジュワツ！という勢いで出てきます。

実は昨年、僕たちの周りである議論が起きました。「口から食べる機能が低下していても好きな物だったら食べられる(誤嚥をしない)」という話。もちろん僕も似たような体験はしたことがあります。ざっくりですが、介護関係の方は肯定的、医療関係の方は否定的な立場での議論になりました。皆さんはどう思われますか？

僕個人的には、好きなものであれば、その人の通常的能力以上のものを食べられるかもしれない、と思っ



ています。何でも食べられるとは言いませんが。

さて、僕にとってはお好み焼き(もちろん広島の)。想像

するだけで、その場であればさらによだれがたれてしまいます。好きなもの、欲するものであれば食べる準備がしっかりできるので。医療関係者的には、検査は絶対的、と思いたいのですが、人間の体はそんなに単純ではありません。好きなものをいつまでも食べていきたいですね。

おせんべい

実はあるプロジェクトで、おせんべいを作っています！本当に販売す

るおせんべいです。2年以上関わっているプロジェクトですが、何とか今年には形になりそうです。

市販のおせんべいだと、硬すぎたり、塩分が多いとかいくつか問題があり、高齢の方たちになかなか勧められないという面がありました。しかし、高齢になってもあの「パリッ」という食感を体験していただきたい開発したものです。また、美味しいお米にこだわったもので、とても美味しく全世代に食べていただきたいのです。

すでに商品としては完成しており、後はパッケージだとか販売だとかの詰めをしている段階です。春までには皆さんにご紹介できるのでと期待しています。

